

第47回アジア・太平洋研究会

# 国防科学技術イノベーションを推進する中国

1

飯田将史（防衛研究所）

## イノベーションに依拠した軍の強化

- ▶ 「強軍」を目指す習近平政権
  - ▶ 「中華民族の偉大な復興」 = 「中国の夢」
  - ▶ 人民解放軍にとって「強国の夢、強軍の夢」
- ▶ 第19回党大会報告（2017年10月）
  - ▶ 「科学技術は核心的な戦闘力であるとの思想を樹立し、重大な技術のイノベーションと自主的なイノベーションを推進する」
  - ▶ 「イノベーション型の人民軍隊を建設しなければならない」
- ▶ 軍の戦闘力強化において科学技術が中心的な役割
- ▶ 軍事力強化に必要な技術の自主的なイノベーションを推進

## 「新興領域の戦略的能力」を重視する習近平

全人代解放軍・武警代表団会議（2024年3月7日）での講話



- ▶ 「新興領域の戦略的能力を全面的に高めなければならない」
- ▶ 18回党大会以降、戦略的新興産業と新型の作戦力の発展を推進
- ▶ 20回党大会で「**新質生産力**」の発展加速を提起
- ▶ 「新質生産力」と「**新質戦闘力**」を高度に融合させることにより、「**新興領域の戦略的能力**」の構築を目指すべき。
- ▶ 新興領域の戦略的能力の重点項目
  - ▶ **海上軍事闘争**の準備、海洋権益の維持、海洋経済の発展を統合的に計画し、海洋ガバナンス（経略）能力を高める
  - ▶ **宇宙**における布陣を最適化し、宇宙システムの構築を推進する
  - ▶ **サイバー空間**防御システムを構築し、サイバーセキュリティー維持能力を向上させる
  - ▶ **インテリジェント（智能）技術**の重要プロジェクトを統合的に計画・実施し、先進的成果の応用を強化する

# 「新質戦闘力」の特徴とは？

- ▶ 「新質戦闘力」とは（李明ら、2024）
  - ▶ 「高い効率と質を目標とし、科学技術イノベーションを内在的なエンジンと主導的な梃子とするものであり、先進的な戦闘力の全ての要素をけん引して開放する新型の能力」
  - ▶ 科学技術におけるイノベーションを主たる推進力として、効率と質の両面で高い水準を有する戦闘力
  - ▶ 「強力な能力付与」：情報ネットワーク、データ資源、知能アルゴリズムといった新たな要素が、人や装備といった従来の要素に新たな能力をもたらす
  - ▶ 「人と機械の深い相互作用」：高度なシミュレーション訓練などを通じて人と武器・装備の協同作戦能力が増強される
  - ▶ 「多次元・多領域への拡大」：遠海、極地、ネットワーク、電磁界などの領域と、物理域と情報域の融合により戦闘力が増大する
  - ▶ 海洋や宇宙、ネット空間、電磁界といった「新興領域」における科学技術イノベーションによってもたらされた「新質生産力」を活用することにより、戦闘力の構成要素を体系的に強化したり、人間と武器・装備の融合を促進したり、戦闘力を領域横断的に発揮させることを通じて、従来と比較して格段に質と効率が高まった戦闘力

# イノベーションの戦闘力への転化

- ▶ 科学技術イノベーションを戦闘力へ転化する道筋（劉楊鉄ら、2024）
- ▶ 軍事訓練の水準向上
  - ▶ シミュレーション化、ネットワーク化、対抗性の強化
  - ▶ 生成AI等の技術を用いて、陸上、海上、空中、宇宙、電磁界、ネット空間など各領域を融合した真に迫る**実戦的な訓練環境**の構築
- ▶ 武器・装備の発展推進
  - ▶ 智能化武器・装備の発展を加速させ、近代化の水準を世界の最前列に引き上げる
  - ▶ ネットワーク情報システムを通じて各作戦能力を連結させて、**統合的な作戦能力**を形成
- ▶ 軍事ガバナンスの向上
  - ▶ 軍事物流システムと軍事資産管理システムの近代化により、**軍事システムの運用の効果**と、**国防資源の使用効率**を高める
- ▶ 指揮官の作戦能力の向上（劉華軍、2024）
  - ▶ AIの活用により、指揮官からのフィードバックを学習させて、**情報の分析や戦況の判断**、**作戦の立案**などを通じて指揮官を補佐させる
- ▶ 科学技術イノベーションの軍隊における実装化に向けた真剣な議論

# 軍民融合によるイノベーションの推進

- ▶ 「軍民融合」：民間の企業や大学、研究機関などに存在する先端的な科学技術や資金、人材などを軍事建設に動員することを目指す（岩本・八塚、2020）
- ▶ トップダウンによる「軍民融合」の推進
  - ▶ 「経済建設と軍事建設の関係を上手く把握・処理して、両者の協調的な発展、バランスのとれた発展、包括的な発展を図るべき」（習近平、2015年3月）
- ▶ 中央軍民融合発展委員会の設立（2017年1月）
  - ▶ 「国防科学技術と武器・装備の分野は軍民融合発展の重点であり、軍民融合発展の水準を測るメルクマールである」（習近平）
  - ▶ 「軍隊のイノベーションを国家のイノベーション体系に融合させ、国家のイノベーション駆動戦略と統一的に結びつけることで、軍民協同のイノベーションによる合力を形成すべき」（徐一天、2017）
- ▶ 「国防科学技術工業における軍民融合の深い発展に関する意見」（国務院、2017年）
  - ▶ 国家が所有・運営する資源や設備の民間との共有
  - ▶ 軍と民間が国防科学技術の研究項目や政策を協議する場の設立
  - ▶ 軍と民間の様々な標準の統一

分類	技術分野
基礎研究・先端技術研究	①知能・無人；②バイオ交叉；③先進的電子；④量子技術；⑤将来ネットワーク；⑥先進的エネルギー；⑦新型材料；⑧先進的製造
科技軍民融合重点項目	⑨電子情報；⑩宇宙リモセン；⑪新材料；⑫先端製造；⑬エネルギー；⑭交通；⑮バイオ；⑯海洋；⑰現代農業；⑱社会公共安全
国家重大科学技術	⑲原子力高度インフラ；⑳ブロードバンド通信；㉑重大な新薬の創生；㉒重大な伝染病の防止・治療；㉓集積回路の装備；㉔高分解率地上観測システム；㉕宇宙の有人飛行と月探査プロジェクト

- ▶ 「“十三五”科技軍民融合發展專項企画」（科技部・軍委科技委、2018年4月）
- ▶ 「新質生産力」と「新質戦闘力」の融合は、「軍民融合」の流れを汲むもの
- ▶ 「**国家が重大な科学技術のイノベーションにおける組織者としての役割を果たす**」ことにより、国家実験室や大学、企業の役割を上手く發揮させ、科学技術の突破を推進できる相乗効果を生む「**科学技術イノベーションのエコシステム**」を構築するべき（唐方成、2025）

# 「新質戦闘力」を担う人材の育成

- ▶ 中央軍委「人材工作会議」（習近平、2021年11月）
  - 「人材はわが軍の質の高い発展を推進し、軍事競争と将来の戦争において主導権を勝ち取るうえで重要な要素である」
  - 「**新時代の人材強軍戦略**」を実行し、**統合作戦を指揮する人材、新型の戦闘力を担う人材、ハイレベルの科学技術イノベーションを担う人材、高水準の戦略管理を担う人材**を作り出す必要がある
- ▶ 将来の戦争に対応するためには、「指揮官」「戦闘員」と「科学者」「技術者」の融合発展を推進し、**専門化・智能化した質の高い軍事人材の集団**を作り出す必要（劉望、2025）
- ▶ 戰闘力を構成する人間と武器・装備の一体化が進展する「智能化戦争」においては、無人機などの「新質戦闘力」が必要とするレベルに人間の能力と素質が達しなければ、先進的な武器・装備は十分な能力を發揮できない（孔、2025）

# 「智能化戦争」と「新質戦闘力」

9

- ▶ 「智能化戦争」
  - ▶ 情報通信技術とAI技術のイノベーションが武器・装備や作戦運用に応用
  - ▶ 作戦領域が拡大し、領域を越えた作戦が実行
- ▶ 「ネットワーク情報システムに基づいた統合作戦」
  - ▶ 統合作戦の実施には高度なネットワーク情報システムが不可欠
- ▶ 情報支援部隊の設立（2024年4月）
  - ▶ ネットワーク情報システムが戦闘の準備と戦闘の実施における能力強化をさらに支援できるように努力せよ（習近平、2024年12月）
- ▶ 「領域横断作戦」
  - ▶ 1つの領域における作戦が他の領域に影響を与えたる、異なる領域を跨いだ一体的な作戦が行われたりする
  - ▶ 将来の作戦はネットワーク戦や無人機スウォーム戦といった新型の作戦方式へ主軸を移し、「敵の急所を攻撃し、システムを破壊する方法」を計画すべき
- ▶ 「新質戦闘力」を様々な領域を跨いで一体的に運用することにより、敵のシステムを破壊・麻痺させて勝利を目指す作戦構想

## まとめ

- ▶ 人民解放軍は科学技術を核心的な戦闘力と位置づけ、その自主的なイノベーションを重視・推進している（自立自強）
- ▶ 「新質生産力」を軍事力に転化することで「新質戦闘力」を形成し、「新興領域の戦略的能力」の強化を目指す
- ▶ 国防科学技術のイノベーションを推進する手段として「軍民融合」を強化している
- ▶ イノベーションの実現や「新質戦闘力」を発揮することに不可欠な人材の育成にも注力している
- ▶ 将来の「智能化戦争」においては、「ネットワーク情報システム」に基づく「領域横断作戦」を実行することを想定し、「情報支援部隊」を新設
- ▶ 中国は引き続き国防科学技術のイノベーションを国家を挙げて推進するだろう